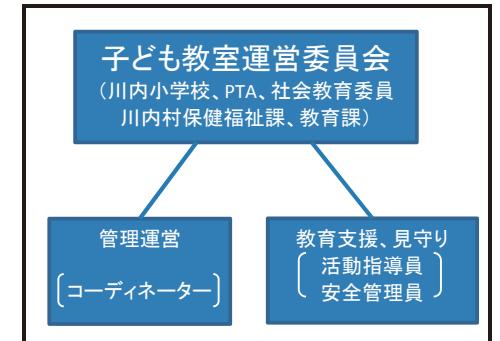


地域が見守り育てる川内っこ 一遊・学・スポーツ・ものづくり・交流活動ー

		活動名		関係する学校名					
福島県川内村		川内村放課後子ども教室		川内小学校					
基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		0人	1人	35人	194日	25年度	有	無	無
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
コミュニケーションスクール		指定日		委員数		児童生徒数	学級数		

体制図



【活動の概要】

- 活動時間は学校終了後 18 時迄、まず学校での学習の補充問題や発展問題などを行い、その後自由活動を行っている。
- 月ごとに読書やスポーツ教室、高齢者とのふれあい等を行うとともに、七夕会、クリスマス会などの活動を行っている。
また、夏休みは 8 時半から 17 時半迄開室し、プールや自由活動の時間を設定している。

【経緯】

- 帰村に当たっての保護者との協議により、放課後の児童の安全な活動のため、全児童を受け入れる放課後子供教室を設置し、避難先（郡山市）の仮設住宅脇に建設した、ドイツより寄贈された「コミュニティセンター」を川内村に移設し「なかよし館」と名付け子供教室の活動場所としてオープンした。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 福島大学では、「ふくしま未来学」を川内村と連携・協働して実施しており、受講している学生が村民との交流を企画・実施している。昨年は、「川内オリンピック」を開催し放課後子供教室の児童も参加した。また、イベント以外でも大学生との交流活動を行っている。
- 月ごとに特別教室として、村内施設を利用し「読書の日」、「村内探検」、「フットサル教室」を実施しており、地域の方が 講師を務めている。また、老人クラブとの「高齢者ふれあい教室」や社会福祉協議会での「デイサービスクリスマス会」を開催している。さらに、夏休みには村の「もりたろうプール」にて水泳教室も開講している。
- 村外や県外の団体等より特別教室や交流会の申し出があり、学習や交流活動を行っている。

【実施に当たっての工夫】

- なかよし館の他に、隣の村民体育センター及び教育委員会の裏庭で活動し、常に活動スタッフの目が届くよう人員を配置している。
- スタッフミーティングを月に 1 回開き、子供教室の状況や学校の要望等について協議し、児童一人一人の状況や施設の状況などの情報を共有し対応できるようにしている。
- 高齢者とのふれあいなど、地域の方々との交流を定期的に設定している。

● 事業を実施しての効果・成果

- 子供たちからの挨拶が、子供教室以外の場所や地域においても実践されており、明るい生活環境がてきた。
- 老人クラブ等との交流会を行うことにより、地域の方々と知り合いになり、児童の安全面においても効果が表れている。
また、地域の方々も、放課後子供教室の活動に関心をもつ方が多くなってきており、活動支援ボランティアとしての登録を図っていきたい。
- 夏休みは、村外や県外の団体等による特別教室が開催され、積極的に体験や交流活動を行っている。
- 平成 27 年度は、全校児童 35 名が参加するとともに、児童に対する共通した立場での指導や交友関係に対する対応など、学校との連携・協働を密に図ながら活動することができた。



「デジタル絵本」の読み聞かせ



「橋をつくってこわそう」
模型づくりと実験